

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
義肢装具学		必修	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
三科 貴博	D317	t-mishina	火曜日 12:10 ~ 13:00		
授業の目的・概要	義肢装具の構造と機能の概要を理解し、疾患の特徴と運動機能を考慮して装具の適用を決めるかを修得することを目標とする。 装具の構造や適合性について課題学習等を通して理解し、その後のフィードバックとグループワーク等の意見交換を行い、どのように装具の適用を決めるか理解を深める。				
学習上の助言	授業内容について理解できない場合は、積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	PT・OT ビジュアルテキスト義肢・装具学 第1版/監修 高田治実、編集 豊田輝、石垣栄司/羊土社				
参考書	義肢装具学第4版/編:川村次郎、陳隆明、古川宏、林義孝/医学書院				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	装具の写真や実物を見て、名称と構造・機能の特性を説明できる。			PT(1)、(3)	
②	疾患における装具の適用を修得する。			PT(3)、(6)	
③	装具適合のポイントを指摘して必要な修正方法を答えられる。			PT(2)、(3)、(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	装具の目的・分類・3点固定の原理を学習する フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業	教科書 P. 244～251 を読み課題指定の設問に回答し提出する	2	
2	下肢装具の構成部品とそのチェックアウトについて学習する フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業	教科書 P. 253～265 を読み課題指定の設問に回答し提出する	2	
3	足継手の制御機構について学習する フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業	教科書 P. 267～273 を読み課題指定の設問に回答し提出する	2	
4	疾患別の装具療法①：脳卒中片麻痺の装具について学習する フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業	教科書 P. 275～281 を読み課題指定の設問に回答し提出する	2	
5	疾患別の装具療法②：対麻痺の装具について学習する フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業	教科書 P. 283～293 を読み課題指定の設問に回答し提出する	2	
6	疾患別の装具療法③：整形外科的装具について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業	教科書 P. 295～300 を読み課題指定の設問に回答し提出する	2	
7	疾患別の装具療法④：頸椎疾患・胸腰椎疾患の装具について学習する フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業	教科書 P. 302～311 を読み課題指定の設問に回答し提出する	2	
8	疾患別の装具療法⑤：末梢神経障害の装具について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 311～326 を読み課題指定の設問に回答し提出する	2	
9	疾患別の装具療法⑥：脊柱側弯症の装具について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 328～334 を読み課題指定の設問に回答し提出する	2	
10	疾患別の装具療法⑦：小児疾患の装具について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 336～344 を読み課題指定の設問に回答し提出する	2	
11	疾患別の装具療法⑧：関節リウマチの装具について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 346～351 を読み課題指定の設問に回答し提出する	2	
12	靴型装具について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 353～357 を読み課題指定の設問に回答し提出する	2	
13	車椅子・杖について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 359～365 を読み課題指定の設問に回答し提出する	2	
14	義肢・装具の給付制度について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 367～375 を読み課題指定の設問に回答し提出する	2	
15	義肢装具学のポイントを復習する	同時双方向型授業	これまでの課題を総復習する	5	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

試験		定期試験 達成度評価・評価のポイント参照					
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	0	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	5	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施し評価する (80%)。試験は教科書を基に出題する。			答案を返却する際に適時解説を行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業の中で課題を出し、理解度の確認を行い評価する (20%)。			授業の中で課題についての解説を行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>教員の実務経験：三科 理学療法士（医療機関及び介護保険関連施設にて 約8年間の実務経験あり）</p> <p>実践的授業の内容：病院にて脳血管障害や整形疾患などの装具処方・使用した実務経験を活かして疾患毎の説明を行う。</p> <p>同時双方向型授業では Teams を使います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性があります。</p>							